

薬局・薬剤師のDX推進を支援

EMシステムズ「MAPs for PHARMACY DX」

EMシステムズは、2019年にリリースした「MAPs for PHARMACY」の製品コンセプトをリニューアルし、22年12月から「MAPs for PHARMACY DX」をリリースした。これにより薬局・薬剤師業務のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進を支援する

薬局業界では、対物業務から対人業務への対応やコロナ禍の影響による薬局業務形態の進化、診療報酬改定への対応など大きな環境変化があり、その対応に迫られている。

「MAPs for PHARMACY DX」は、レセコンや電子薬歴の枠を超え薬局DXを通じて、「モノから人へ」に対応した薬局をサポートし、薬剤師や患者の顧客体験であるユーザーエクスペリエンス(UX)を高め、#TX(Thanks Transformation)を実現する「オールインワン・ファーマシープラットフォーム」

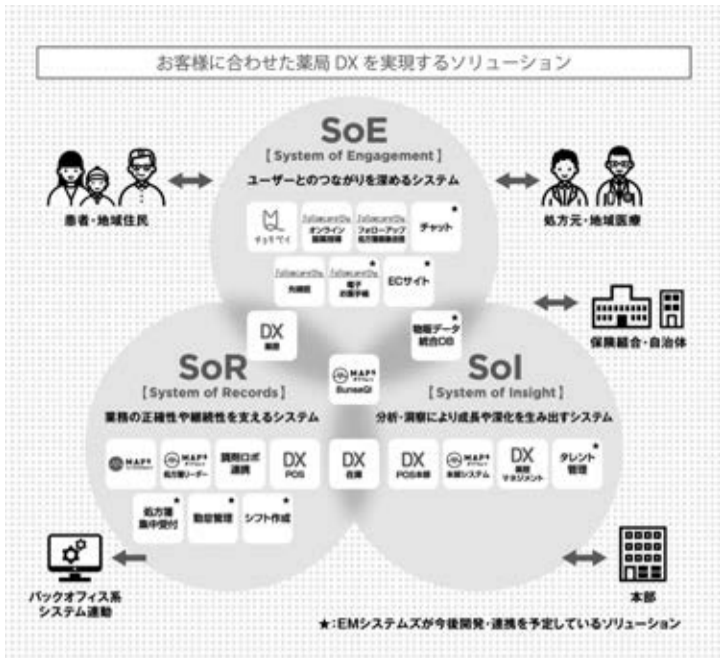
フォーム」DX推進に役立つシステムとして、大きく三つの方向性を意識している。各種機能を、▽ユーザーとのつながりを深める「SoE」▽業務の正確性や継続性を支える「SoR」▽分析や洞察により成長や進化を生み出す「SoI」の三つに分け、各領域での機能拡充を目指している。

新たな機能の一つが働き方改革を支援する「処方箋シェアリング」。クラウド型レセコンの利点を生かし処方箋入力作業がどこでも行える。電子処方箋やオンライン服薬指導等への対応など複雑化する薬局業務もワンコントロールでシンプルに管理が可能。また、医薬品発注業務も薬歴情報と人工知能(AI)の活用により業務を大幅軽減し、本部主導の在庫管理を実現する。

さらに、電子薬歴と患者のスマートフォンを連携することで、先確認から

フォローアップまで対応。服薬指導やフォローアップでは処方内容に応じたサジェスト機能があり、薬剤師のキャリアに依存しない質の担保と業務効率化につながる。

検査値をもとに最適な投与量や禁忌などを自動的にチェックする機能もあり、リフィル処方箋への対応を後押しする。ほかにも、医師への報告をサポートするAI報告文書作成(オプション)や企業や店舗内、地域



連携、医師等とのコラボレーションに活用できるチャットアプリ、薬局経営と薬剤師評価を支援するデータ分析ツールの拡充を予定している。

薬局DX化の未来をつなぐ

ネグジット総研「調剤くんV8」

ネグジット総研は今春、30年以上の経験と実績を誇るレセコンメーカーとしての矜持と技術を注ぎ込んだ新商品「調剤くんV8」をリリースした。

これまでの使いやすさにこだわったコンセプトはそのままに、薬歴・在宅機能部分をクラウド化したハイブリッド形式を採用し、薬局の外に活動の場が広がっている薬剤師業務に即した機能を搭載したシステムに生まれ変わった。

調剤くんブランド第8世代となる「調剤くんV8」のレセコン部分では、これまでのシリーズコンセプトである「マニュアルいらず」をテーマとした見やすい画面構成で、誰もが直感的で容易な操作を実現。ボタンの配置や大きさ、入力者ごとに選べる文字サイズ、ファンクションキー対応操作画面など多様なニーズに対応。圧倒的な使いやすさを追求している。

また、新機能としてスケジュール管

理機能やダッシュボード機能を配置し、当日の入力業務だけでなく、その日以降の予定や状況など業務全体を立体的に把握できるよう進化を果たしている。

窓口業務機能では、本部から遠隔リモートにより入力支援する機能を実装。枚数の関係で入力事務を配置しづらい店舗やスタッフの急な病欠や増患時の応援・入力技術補助など、多岐にわたる用途に対応可能だ。これも長年の経験からユーザーのニーズに応えた機能の一つ。

環境対策にも配慮しており、特にペーパーレス化にはこだわりを持つ。電子薬歴のみならず電子調剤録も搭載している(オプション、ガイドライン準拠)。問診票などの局内保管帳票も合わせてスキャンして画像化し、患者データと一緒に保存しておくことで、紛失などのリスクもなく保管場所の確保



も不要となる。さらに、プリンタのトナー・インク・電気代・本体の摩耗消耗から印刷コストの大幅な削減を実現しており、環境に優しい薬局づくりに貢献できる。

電子薬歴は調剤くんシリーズ初のクラウド化を実現した。薬局内の決まった端末での操作以外にノートパソコンやタブレット(iPad等)での入力操作が可能となった。

通信は安心のセキュリティ対策を施

したVPN通信を採用。生体認証ログインなど複数の安全装置を施すことで個人情報漏洩対策は万全を期している。これにより在宅業務や電話当番時に瞬時に患者情報を確認することができ、薬剤師業務の機動性充実に寄与するシステムとなった。

これまでの利便性はそのままに、新たな機能を持った「調剤くんV8」をぜひ体験してほしい。

第56回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

 <p>日東メデイック株式会社</p> <p>代表取締役社長 中井龍</p> <p>〒939-2366 富山県富山市八尾町保内一四一</p> <p>電話 〇七六(四五五)三四五一</p>	 <p>岩城製薬株式会社</p> <p>代表取締役社長 西村泰輔</p> <p>〒103-8434 中央区日本橋本町四一八一</p> <p>電話 〇三(六六二六)六二五〇</p>	 <p>寿製薬株式会社</p> <p>代表取締役社長 富山泰</p> <p>〒389-0697 長野県埴科郡坂城町大字上五明字東川原一九八</p> <p>電話 〇二六八(八二)二二一一</p>	 <p>インプロ株式会社</p> <p>代表取締役社長 佐野嘉彦</p> <p>〒566-8510 大阪府摂津市千里丘新町三番二六号</p>	 <p>帝國製薬株式会社</p> <p>代表取締役社長 藤岡実佐子</p> <p>〒769-2695 香川県東かがわ市三本松五六七番地</p> <p>電話 〇八七九(二五)二二二二</p>	 <p>久光製薬株式会社</p> <p>代表取締役社長 中富一榮</p> <p>九州本社 〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地</p> <p>東京本社 〒100-6330 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号</p>	 <p>ゼリア新薬工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 伊部充弘</p> <p>〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町一〇一</p> <p>電話 〇三(三六六三)二三五(代表)</p>	 <p>大塚製薬株式会社</p> <p>東京本部</p> <p>〒108-8242 東京都港区港南二一六一四</p> <p>電話 〇三(六七七一)一四〇〇(代表)</p>
---	---	--	--	--	---	--	---